

ネパール地震被災地支援 No.5



募金総額：16,679,880 円

日本 YMCA 同盟スタッフの現地訪問 11/28-12/2

Emergency Support for Nepal

日本 YMCA 同盟の山根一毅スタッフと神戸 YMCA の松田道子スタッフがネパールを訪ね、日本の YMCA が支援する被災地支援の現場の視察と今後の話し合いを行いました。

地震発生から半年以上が経つネパールですが、国土の大半が山岳地域にあり支援を届けるのには多くの困難がありました。また、現在はインドからの様々な物資の輸入が制限され、ガソリンは1リッターあたり500円程度します。復興に必要な建設資材なども不足し、その値段も高騰しています。

これまで日本の YMCA に集められた募金の使い途として、現在以下の3つのプロジェクトが動き始めています。

- 1) 被災地域の子どもたちへのスカラシップ支援（学用品や制服などの提供）プロジェクト（\$21,000）
- 2) スンダラ・デビ・セカンダリースクール校舎再建プロジェクト（\$38,000）
- 3) パンチャムキ・セカンダリースクール校舎再建プロジェクト（430万円）

今回の訪問では、スカラシップを受け取る子どもたちが暮らすラリットプールとスンダラ・デビ・セカンダリースクールがあるヌワコットを訪ねました。



リュックサックの受領式に集まった子どもたち

カトマンズにあるネパール YMCA は、カトマンズを中心に被災をした広い地域での、子どもたちへの学用品や制服を提供するプロジェクトを始めました。日本からは年間7000ドル（約85万円）の支援を3年間継続します。

ラリットプールは、カトマンズ市街から車で南に30分ほど移動した地域にあり、複数の学

校の子ども達にリュックサックを配りました。受け取った子ども達の家は、全壊または半壊しています。ネパール YMCA の名前が入った新品のリュックを子ども達は嬉しそうに背負って、それぞれの学校に帰って行きました。



竹で編んだすだれが下がるトタン屋根のスンダラ・デビ・セカンダリースクールの仮校舎

カトマンズからは車で4時間、途中からは険しい道を通りながらたどり着いたのがヌワコットという地域のスンダラ・デビ・セカンダリースクールです。神戸 YMCA 学院専門学校を卒業したアヌブ・ポウデルさんの紹介で日本の YMCA が支援をすることになりました。アヌブさんのお父さんが若いころに副校長先生をしていた学校です。いまもまだ学校は壊れたままで、子ども達は応急処置をした校舎や竹などでつくった仮校舎で学んでいます。（報告：山根）



パンチャムキ・セカンダリースクールも建築が進んでいます

※上記の募金総額には神戸市社協からの740万円が含まれています

公益財団法人 日本YMCA同盟

担当：山根・田尻・市来

TEL 03-5367-6645

FAX 03-5367-6641

E-mail: info@ymcajapan.org